

第32回 日本医療情報学会 中国・四国支部会セミナー
第12回 四国医療情報技師会勉強会

開催概要

このたび、日本医療情報学会 中国・四国支部会では、四国医療情報技師会と共同開催で下記概要にてセミナー開催を予定しております。皆様にはご多忙中とは存じますが、ご参加くださいますようお願い申し上げます。

記

1. テーマ：**サイバー攻撃被災時の医療継続対策の検討**
(開催趣旨)

現在、日本医療情報学会では政策提言案として「緊急時システム」を検討しています。サイバー攻撃の被災時に医療を継続するために必要な機能は何か？について、実際の被災事例をもとに参加者の皆様と考えることを今回のセミナーのテーマとします。

特に、最近公開された大阪急性期・総合医療センターのインシデント事例では参照システムを使った運用を早期に開始することで医療機能を回復できているとのことで、[報告書](#)にも「参照系システムが医療継続をおこなうために重要である」と記載があります。日本医療情報学会で検討している「緊急時システム」では参照システムとして SS-MIX2 ビューワと簡易入力による緊急時システムを想定しており、その有用性について探ることを目指します。

2. 開催日時：**2023年6月10日(土) 13:30～16:50(受付 13時00分～)**

3. 開催方法：**ハイブリッド開催**

メイン会場：**愛媛県立中央病院 講堂**

<https://www.eph.pref.ehime.jp/epch/facility/access/index.html>

ウェビナー：**webexを予定**

4. プログラム：別紙をご参照ください

5. 参加費：**無料**

6. 定員：**現地参加150名、Web参加500名を予定(申し込み順 定員に達し次第締め切り)**

7. 申込期間：**2023年5月22日(月)～6月5日(月) ただし定員に達し次第締め切ります**

8. 申込方法：**日本医療情報学会 中国・四国支部のホームページからお申込ください**

⇒ <http://chu-shi.umin.jp/>

※ 申込の入力が完了しますと、申込内容確認メール(参加用のURLを記載)が送信されます。

※ キャンセルされる場合は、セミナー前日の12時まで下記連絡先までご連絡ください。

9. 各種ポイント：日本医療情報学会 医療情報技師更新制度：4ポイント

日本医用画像情報専門技師更新制度：8ポイント(予定)

公認医療情報システム監査人補認定更新規定：2ポイント(予定)

(ご連絡先 香川大学医学部附属病院医療情報部 三上史哲 e-mail：mikami.fumiaki@kagawa-u.ac.jp)

■プログラム

13:30-13:40 開会あいさつ、趣旨説明

香川大学医学部附属病院 医療情報部 部長 横井英人(10分)

第一部

13:40-14:40 大阪急性期・総合医療センターの事例に学ぶ(仮題)(質疑含め60分)

座長:香川大学医学部附属病院 医療情報部 部長 横井英人

講演:大阪急性期・総合医療センター 医療情報部 部長 森田孝先生

<休憩 10分>

第二部

14:50-15:40 緊急時のシステムについて(50分)

座長:香川大学医学部附属病院 医療情報部 副部長 三上史哲

1. インシデントからの復旧作業についてのご報告(30分)

講演:日本電気株式会社 ヘルスケア・ライフサイエンス事業部門 医療ソリューション統括部
中島誠一郎(現地参加)・根津弘人(web参加)

2. 日本医療情報学会政策提言案の「緊急時システム」について(20分)

講演:香川大学医学部附属病院 医療情報部 小谷裕輔

<休憩 10分>

第三部

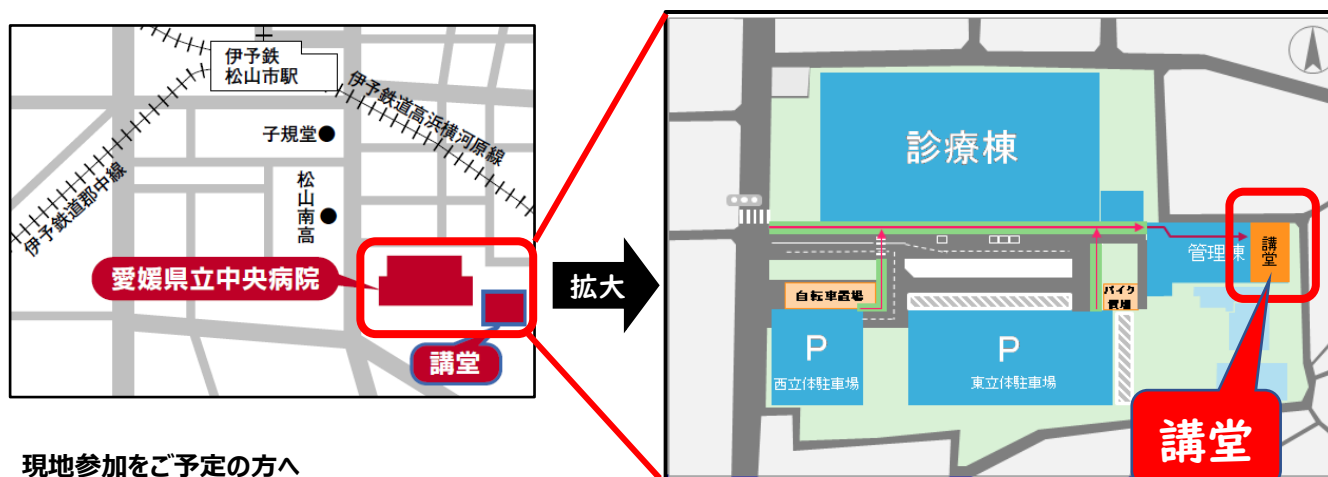
15:50-16:50 総合討論(60分)

緊急時システムとして必要な機能(医療継続のためにどのような情報が必要なのか)について、演者・座長の先生や一般医療機関の方より評価、期待される機能などについて意見をいただく。

またベンダーからも実現性、技術的課題などについてご意見をいただく。

■会場のご案内

愛媛県立中央病院 講堂 <https://www.eph.pref.ehime.jp/epch/facility/access/index.html>



現地参加をご予定の方へ

会場は食事禁止ですので、事前に食事を済ませてご参加ください。

愛媛県立中央病院の駐車場をご利用の場合は、各自で認証機にて無料認証作業をしていただく予定です。

以上